

2021 年度 日本緑化工学会賞 講評

今年度の選考では、本年 2 月に刊行された学会誌 46 巻 3 号に受賞候補者の推薦依頼が掲載され、本年 5 月 15 日まで推薦を受け付けました。推薦された候補者について学会賞選考委員会で慎重な審議を行い、研究奨励賞を 1 名に授与することとしました。

受賞理由は以下のとおりです。

研究奨励賞

人見拓哉 氏

題目：都市化に伴う緑地土壌での有機物分解特性の変化に関する研究

人見氏は都市域で指摘されている緑地土壌の酸性度の変化が土壌での落葉・落枝などの有機物の分解特性におよぼす影響について研究を行ってきました。これまでに、土壌の酸の中和に伴い、樹木の枝葉の化学組成が変化し分解されにくくなることや、土壌動物の多様性を低下させ、有機物分解が行われにくくなることを明らかにし、日本緑化工学会誌に 2 編の論文として発表してきました。これらの知見は都市化が緑地生態系におよぼす影響の解明や、都市緑地の管理方法を検討する際に活用できます。また、今後の研究の発展も期待されることから、人見氏への研究奨励賞授与を決定しました。